

見てみよう！歴史災害記録と旬のあいち

November 2020 vol.79

◆ 平和公園

所在地：名古屋市千種区平和公園

交通：地下鉄名城線「自由ヶ丘」駅 東約2km

昭和34（1959）年9月26日、伊勢湾台風がこの地域を襲い、各地に甚大な被害をもたらしました。台風による名古屋市内の被害は、当時の人口約150万人に対し、罹災者の総数は53万人余り、死者・行方不明者1,851人、被害総額1,287億円となり、市全体の面積の3割を超えるおよそ90km²が浸水しました。

伊勢湾台風による犠牲者を慰霊する慰霊碑は、名古屋市内では、特に被害の大きかった南区や港区に数多く残されていますが、千種区の平和公園にも、伊勢湾台風殉難者慰霊碑が建てられています。

平和公園は、昭和22（1947）年に、戦災復興土地地区画整理事業の一環として、市内に点在していた279寺の墓地、約18ha、18万基余りを移転集約することとしたもので、昭和56年9月に墓碑の移転が完了し、公園の整備が進められました。現在では、市内でも有数の桜の名所になっており、公園内には「桜の園」と名付けられた場所もあります。

伊勢湾台風殉難者慰霊碑は、伊勢湾台風により被災した名古屋市民1800名余を慰霊するため、1周年にあたる昭和35（1960）年に、名古屋市により平和公園内に建てられたもので、殉難者の名簿が納められています。

碑文は次のとおりです。「昭和三十四年九月二十六日夜台風第十五号襲来高潮のため



伊勢湾台風殉難者慰霊之碑

南部臨海地帯に浸水遭難者無慮二千余名に及ぶ痛恨限りなし、即ち伊勢湾台風と称するものこれなり、今その一周年に当り殉難者慰霊之碑を建て、哀悼の意を表し、諸霊の冥福を祈る。」

揮毫は、当時の名古屋市長・小林橘川によるものです。小林市長の揮毫による伊勢湾台風の慰霊碑は、平和公園の伊勢湾台風殉難者慰霊之碑のほかにも、浜田南公園（南区浜田町）の伊勢湾台風殉難者慰霊之碑、大泉寺（南区天白町）の伊勢湾台風殉難者追悼之碑など、数多く見られます。

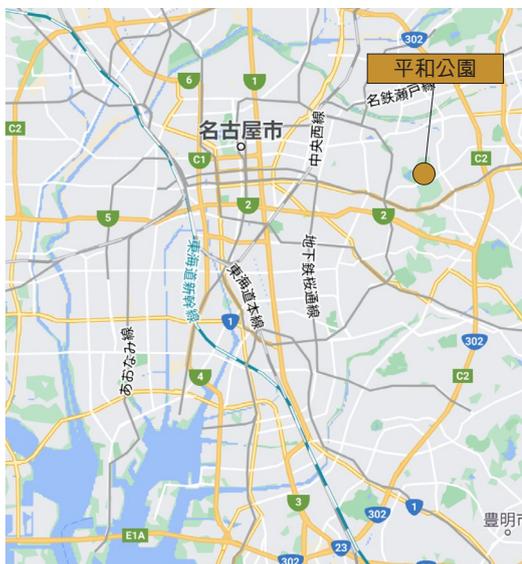
平和公園の伊勢湾台風殉難者慰霊之碑では、被害にあった方々の霊を慰め、防災の誓いを新たにすため、毎年9月26日に、名古屋市主催の伊勢湾台風殉難者慰霊祭が行われています。61回目を数える今年の慰霊祭にも、名古屋市長、名古屋市会議長らが出席し、黙祷の後、献花が行われました。一般の参加者に対しても献花が用意され、私も献花をさせていただきました。



伊勢湾台風殉難者慰霊祭の様子

各地で行われる慰霊祭は、慰霊碑を維持する方々の高齢化などから、徐々に開催が難しくなっています。慰霊祭は、犠牲者への慰霊とともに、災害の教訓を残す慰霊碑の存在を世に知らしめ、後世に受け継ぐ重要な行事です。災害にまつわる慰霊祭が世代を超えて受け継がれ、教訓を伝えるべく執り行われ続けることを願います。

なお、先月号で紹介した水難の碑の3つ目は愛西市の佐屋中学校にありました。情報提供ありがとうございました。



◆ 災害にまつわる碑や史跡には、実際にその地域で起こったことが記録されているだけでなく、当時の人たちの思い（二度と被害を繰り返さないように、など）が込められています。碑や史跡の前では、災害が実際にこの地域で起こるということを実感していただくとともに、そうした先人たちの声に耳を傾け思いを巡らせ、身の回りの備えにつなげ、これからの防災に活かしてください。

◆平和公園の周辺には…

● ^{にったいじ}日泰寺（関東大震災供養堂・関東大震災惨死者供養塔・関東大震災横死者追悼之碑）

所在地：名古屋市千種区城山新町ほか 交通：地下鉄名城線「自由ヶ丘」駅 西約450m～1km

大正12（1923）年関東大震災で愛知県の人々は、官民挙げて救済費の支出や救援物資の輸送、救護班の派遣など、惜しみない協力を行っています。

日泰寺には、奉安塔の入口に、関東大震災供養堂（写真左）があるほか、地下鉄自由ヶ丘駅近くの八十八ヶ所霊場には「惨死者供養塔」（写真中）があります。

関東大震災横死者追悼之碑（写真右）は、日泰寺墓地内に建てられていたものの、昭和34年伊勢湾台風で倒れ、そのままになっていました。その後、報道をきっかけに、建設者探しが始まり、当時の名古屋市東区蒲焼町（現在の中区錦3丁目）の青年会が関東大震災の犠牲者を悼んで建設した碑であることが判明し、現在は再建されています。



● ^{じんせいじ}尋盛寺（濃尾大震災横死者供養塔）

所在地：千種区城山新町 交通：地下鉄名城線「自由ヶ丘」駅 西約800m

明治24（1891）年濃尾地震の供養碑で、「七千百十五人精霊」と刻まれています。岐阜県海津郡西江村（現在の海津市）の女性によって建立されています。



◆詳細な地図は『歴史地震記録に学ぶ防災・減災サイト』（<http://www.pref.aichi.jp/bousai/densho/index.html>）をご覧ください。

★ ^{あきさい}覚王山秋祭

覚王山秋祭は、地下鉄東山線覚王山駅から日泰寺に至る日泰寺参道で、毎年11月の第1土曜日・日曜日に開催される、覚王山ならではのアーティスティックでノスタルジックな祭りです。アートマーケットやレトロ・アンティークマーケット、楽しい音楽いっぱいステージパフォーマンス、おいしいメニューが並ぶ飲食屋台や焼き菓子ストリート、懐かしのゲームなど、イベントが盛りだくさんです。



Aichi Now HPより

日泰寺参道では秋祭のほか、4月には春祭が、7月（8月）には夏祭が開催されており、毎月21日の縁日や、覚王山月イチマルシェも賑わっています。（2020年の春祭・夏祭・秋祭は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

あいちの農産物

大高菜は、江戸時代から大高村（名古屋市緑区）の特産品として知られ、平成14年には、あいちの伝統野菜に選定されています。他のアブラナ科植物との交雑によって形質が変わりやすいため、大高地区での種の生産は、野菜畑ではなく、古い町並みの中の1軒の農家の庭先で行われてきました。繊維質が少なく、香り高くやわらかで上品な口当たりが特徴で、旬の12月から1月にかけて、餅菜などに利用されます。



愛知県園芸農産課HPより

● ブレイクタイム ●

♪ 東山スカイタワー

東山動植物園に併設されている東山スカイタワーは、名古屋市制100周年を記念して1989（平成元）年に建てられた高さ134mの展望タワーです。標高180mに位置する展望室からは、名古屋駅のビル群なども眺めることができ、2004年には日本夜景遺産や夜景100選に認定されています。

タワーには、名古屋市の行政防災無線中継基地という重要な役割があり、14基のアンテナが設置され、市役所と各区役所・消防署などとの無線通信を行う際の中継基地となっています。



Aichi Now HPより

◆この地域の災害に関する碑・史跡、資料・体験談集、地域に残る古文書、研究資料、郷土史研究者・団体などの情報がありましたら、gensaisan2014@gmail.com まで情報をお寄せください。

◆県内の歴史地震記録をホームページで紹介しています。各地の碑や史跡等にご興味をお持ちいただけましたら、『歴史地震記録に学ぶ防災・減災サイト』（<http://www.pref.aichi.jp/bousai/densho/index.html>）をぜひご覧ください。

（発行：減齋の会・名古屋大学減災連携研究センター 2020年11月）